# 庄内総合支庁ニュース

平成３０年８月号

（偶数月に発行します）

◀「夏の月山高原牧場」

食の都 庄内

## ようこそ、山形県へ！
## 外航クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」初寄港

7月１日と17日、待望の外航クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス（イギリス船籍）」が酒田港に寄港しました。本県に外航クルーズ船が寄港するのは、昨年の「コスタ　ネオロマンチカ」に続いて2回目のことで、「ダイヤモンド・プリンセス」は、同港に寄港したクルーズ船としては最大の船となります。

7月１日は晴天の下、客船は乗客約3,000人（アメリカやオーストラリアなど外国人が約8割）、乗組員約1,100人を乗せて午前7時に酒田北港古湊ふ頭に接岸しました。

ふ頭では酒田吹奏楽団の歓迎演奏、酒田舞娘によるお出迎え、地元園児による踊りのパフォーマンスなどで、乗客の皆さんを盛大にお迎えしました。

乗客の皆さんは、ツアーバス20台、8コースに分かれて庄内一円の観光地めぐりや、寒河江のさくらんぼ狩りを体験したり、シャトルバスやタクシーを利用して酒田市街地などに足を運ばれました。

酒田市中町周辺は、多くの外国人でにぎわい、乗客の方は甲冑・着付け体験や振る舞い酒を楽しまれ、市民と関係者が一体となっておもてなしを行いました。

観光案内所や各観光施設では、通訳案内士や学生らによる通訳ボランティアが活躍しました。

船内では関係者約50人が出席して初寄港記念歓迎式典が行われ、吉村知事からステファノ・ラベラ船長に入港楯が贈呈されました。

また、事前応募の抽選に当選した45人が参加した船内見学会も行われ、参加者からは「広い！これに乗って旅をしたい」との声が聞かれました。

ふ頭では山形自慢の味の振舞いや、展示・販売ブースを設置して県産のお酒やワイン、工芸品、土産品などのPRが行われました。

出港セレモニーでは、「やまがた愛の武将隊」による航海の無事を祈る演武や60人を超える大所帯の花笠踊り、庄内飛龍會による演舞等に続き、バルーンリリースで多くの来場者とともに、午後4時に横浜港に向け出港する客船を見送りました。

これから「コスタ　ネオロマンチカ」の寄港が2回控えており、来年は、更に大型の「MSCスプレンディダ」も寄港し、外航クルーズ船は合わせて6船寄港する予定です。今回の寄港の経験をふまえて受入れ態勢の充実を図りながら、次の外航クルーズ船の誘致にも関係者一丸となって取り組みます。

（地域産業経済課　観光振興室）
TEL　0235－66－2126

## 存亡の危機を乗り越えるために

庄内地域における最重要課題である若者の県内定着を促進するため、庄内若者定着促進会議が7月12日に庄内総合支庁講堂で開催されました。

2市3町の首長を始め、産業界、教育機関、行政等の関係者が危機意識を共有し、地域一丸となって、より効果の高い取組みの検討を行うことを確認しました。

会議は、この日開かれた本部会議と①高卒者等の県内就職促進、②県内進学の促進、③県外大学等進学者の県内回帰促進、④UIJターンの促進の4つの検討課題に即したワーキングチームで構成されます。

出席者からは「地元の企業が知られていない」、「生徒は地元に魅力を感じていないのではなく、情報がないため就職につながらない」、「県外に行っても住みやすさから戻りたいと考える生徒もいる」、「事業のコントロールタワー（司令塔）が必要」との意見が出されました。

今後はワーキングチームで検討を進めたうえで本部会議を開催していきます。

（地域産業経済課）
TEL 0235－66－5484

## 高校生へ建設業の魅力を伝える　～若者就業促進事業～

庄内総合支庁では、人手不足となっている建設業に興味・関心を持ってもらい、将来の地元建設業への就業につなげることを目的に、山形県建設業協会鶴岡支部・酒田支部と連携し様々な活動を実施しています。

7月6日、鶴岡工業高校建築科の2年生を対象に現場見学会、測量実習、若手就業者からのメッセージ、意見交換会が行われました。

実際の工事現場の見学を体験し、生徒達は、安全管理や工程管理などの説明に真剣な表情で耳を傾けていました。

意見交換会では、若手技術者と高校生とで『建設業と他業種の違い、地元へ就職する利点』などのテーマから、興味のあるテーマを選び、数人ずつのグループに分かれて意見交換を行いました。「建設業は後世に遺るものを造る」、「地元に就職すると友達も多く、また経済的に有利である」などの意見が出されました。

建設業のやりがいや重要さを理解し、将来多くの若い力が地元の建設分野で活躍してくれることを期待しています。

（建設総務課）TEL　0235－66－5569

## 先輩移住者が庄内の魅力をPR　～やまがたハッピーライフカフェ～

山形県では、東京の有楽町駅近くの東京交通会館ふるさと回帰支援センター内に移住交流を促す拠点として「やまがたハッピーライフ情報センター」を設置しています。

庄内地域の2市3町と庄内総合支庁が連携し、7月22日にふるさと回帰支援センターで移住セミナー「やまがたハッピーライフカフェ」を開催しました。

カフェには、庄内地域にルーツのある方や移住を検討されている方など多くの方が参加され、仕事と子育てを両立している先輩移住者（酒田市へIターン）から庄内地域の子育ての環境や普段の生活などの魅力がPRされました。

その後、各市町の相談コーナーを設け、希望者を対象とした移住全般に関する個別相談会を行いました。

やまがたハッピーライフ情報センターには、移住コンシェルジュと山形県Uターン情報センターの職員が常駐し、U・Iターンを希望する皆さんをサポートしますので、いつでも気軽にお立ち寄りください。
（定休日：月・祝）

［先輩移住者と酒田市担当者のトークセッションの様子］

山形県移住交流ポータルサイト
すまいる山形暮らし情報館
https://yamagata-iju.jp/

（総務課連携支援室）
TEL　0235－66－5444

# 「まるっと鳥海わくわくキャンペーン2018」実施中！！

山形県庄内地域と秋田県由利地域による、夏から秋にかけての観光キャンペーン「まるっと鳥海わくわくキャンペーン2018」を7月1日から10月31日まで実施しています。

今年で11回目を迎える当キャンペーンでは、合計198名様に抽選でペア宿泊券や特産品、優待券などのプレゼントが当たるスタンプラリーを実施します。

キャンペーンパンフレットには、大人気の「ご当地ソフトクリーム」や各施設のおすすめ情報が紹介されていて、環鳥海地域（山形県酒田市・遊佐町、秋田県由利本荘市・にかほ市）の道の駅や観光施設等に設置しているスタンプを集めながら、おすすめスポットを巡り、楽しんでいただけます。

また、今年もポイントに応じて当選確率が上がる企画を実施します。パンフレット片手に、指定施設のスタンプを集めて、夏から秋にかけての環鳥海地域のドライブをお楽しみください。（環鳥海地域の観光情報発信サイトにも、施設の情報を掲載しております。）

環鳥海地域観光情報
発信サイト

（地域産業経済課　観光振興室）
TEL　0235－66－5493

# 大学生ボランティア募集しています

県内外の大学生による海岸クリーンアップ事業「いぐべ、飛島。」も今年で3回目の開催を迎えました。

例年全国から100人を超える参加があり、今年は8月30日から9月3日まで4泊5日の日程で遊佐町と酒田市飛島を会場に開催を予定しており、県内・県出身の大学生40人の参加を募集しています。

県外からは、国内外でボランティア活動を展開するNPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)に所属し、環境問題に興味を持つ110人が参加し、県内・県出身大学生をはじめ島民や地域の方々と交流を図ります。

開催内容は、海岸清掃活動や海洋プラスチック問題についての講義、飛島学講座、星空観察会、そして飛島島民との交流会など魅力ある内容で、環境問題への理解を深めるとともに、県内唯一の離島である飛島を満喫できるものとなっています。

県内・県出身大学生の多くの参加をお待ちしております。

一緒に環境問題に取り組んでみませんか。

（環境課）
TEL0235－66－4914

## 連載　庄内深発見「龍覚寺」

庄内札所第二十八番の新山龍覚寺（りゅうかくじ）は、平安時代、当時険しかった羽黒山に参拝できない人のために、羽黒山のご本尊、聖観世音菩薩の御分身を勧請し、別院として旧鶴岡城（大宝寺城）の西、三の輪に、お堂を建てたのが始まりといわれています。

その後1612年、現在の鶴岡市泉町に移築され、鶴岡城の北東で鬼門に当たることから酒井忠勝公の御祈願所を仰せつかり、一躍荘内領最上位の寺院となったそうです。

観音堂の前には五色の帯で観音様と繋がれた塔婆が設けられ、直に観音様の恵みを受けられます。

自家用車で入ることを一瞬ためらうような入口ですが、境内は広く、駐車スペースも十分です。

ゴホンといえばリュウカク〇ン。

御本尊を拝むなら龍覚寺。

息を整え、観音堂から正面にそびえる金峰山を眺めながら、自然豊かな山々に囲まれた当時の城下町に思いを巡らせてはいかがでしょうか。

［参道から望む金峰山］

（支庁ニュース編集員）
農業振興課　本間 英博

# 食中毒に注意しましょう！

レジャーやイベントなどで、外で調理、飲食する機会が増える季節です。

その一方で、気温や湿度が高く、食中毒の原因となる細菌（腸管出血性大腸菌、カンピロバクター、サルモネラ属菌、腸炎ビブリオ、黄色ブドウ球菌など）が増殖しやすい季節でもあります。

以下の食中毒予防のポイントに注意して楽しみましょう。　（生活衛生課）TEL 0235－66－5664

## 食中毒予防のポイント

①生肉を焼く際に使用する菜箸やトングなどは、専用のものを準備し、他の食材と共用しないこと。
調理前の食材の保管は、温度管理に注意すること。
②炎天下に調理前の食材を放置しないこと。
③クーラーボックスには保冷剤を十分に入れ、開閉回数（時間）をできるだけ少なく（短く）して、内部温度の上昇を防ぐこと。

【食品安全委員会ホームページより】

## お知らせ

庄内総合支庁 Facebook 見てね！

## “明るいやまがた”夏の安全県民運動実施中

7月20日～8月19日は「“明るいやまがた”夏の安全県民運動」実施期間です。

夏は長期休暇、レジャー、暑さによる気の緩みや疲労などから、交通事故や水の事故等が多くなり、また、青少年の非行や身近な犯罪等も多くなる傾向にあります。

事故防止や青少年の健全な育成を図るため、家庭、学校、地域等で県民総ぐるみの運動を推進し、「安全で明るいやまがた」を実現しましょう。

（総務課防災安全室）TEL 0235－66－5447
（子ども家庭支援課）TEL 0235－66－2117

＜運動の重点＞
・青少年の健全育成といじめ・非行及び犯罪被害防止
・子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅
・海・山・川での事故防止
・身近な犯罪等の防止

## キミの思いが、被害を減らす

国土交通省及び山形県では、毎年6月を「土砂災害防止月間」、7月1日～7日を「河川水難事故防止週間」と定め、各種行事を行っています。

その一環として、次代を担う小・中学生の皆さんに、河川安全利用や土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくため、県内の小・中学生を対象とした絵画や作文の募集を行っています。

募集期間は**9月15日まで**となっていますので、夏休みの宿題にいかがでしょうか。募集内容の詳細や過去の入賞作品は、山形県ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

（河川砂防課）
TEL 0235－66－5626

## 山形の家づくり利子補給新制度の募集を開始します！

県では、住宅ローンの利子の一部を負担することで、県産木材を使用した質の高い住宅の建設や良質な中古住宅の取得を応援しています。

より使いやすく見直しを行った新制度の募集を、9月3日から開始します。マイホームをお考えのみなさん、ぜひ利用をご検討ください。

－新制度のポイント－
■支援額は10年間で最大約100万円
■変動金利の住宅ローンも対象に
■取扱金融機関を追加

詳しくは タテッカーナ 検索

（建築課）TEL 0235－66－5639

発行元：山形県庄内総合支庁総務企画部総務課
〒997－1392山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19－1
総合案内窓口 電話0235(66)5598 FAX 0235(66)2835
支庁ニュースHP